

平成 26 年(2014 年) 1 2 月 2 5 日

みなさまへ

オレンジゆずるバスの日曜・祝日実証運行見直し（素案）について
パブリックコメントを実施します

○月曜～土曜の運行は、本格運行に移行後、1 日平均利用者数が増加し、最大で 1 日約 1, 7 0 0 人のかたにご利用いただいております、好調に運行しています。

○日曜・祝日ルートは、平成 25 年 5 月から主目的である「買物」に合わせたルート・ダイヤで実証運行を行ってきましたが、利用者数は伸び悩んでおり、持続可能な運行となるように、さらなる業務の効率化をはかり、1 年間限定の実証運行（素案）を作成しました。

○市民協働で作成したオレンジゆずるバスの日曜・祝日実証運行見直し（素案）についてパブリックコメントを実施しますので、ご意見をお寄せください。詳細につきましては別紙、実施要項・実証運行見直し（素案）をご覧ください。

【期間】 平成 26 年（2014 年）1 2 月 2 5 日（木曜日）から
平成 27 年（2015 年） 2 月 3 日（火曜日）まで

【問い合わせ先】

箕面市地域創造部

鉄道延伸・交通まちづくり室交通政策課

〒562-0003 箕面市西小路四丁目 6 番 1 号

電話 0 7 2 - 7 2 4 - 6 7 4 6



ご意見をお寄せください

日曜・祝日ルート of 新たな実証運行計画 (素案) を公表し、意見を募集しています。

素案の閲覧

2月3日 (火) まで、交通政策課、市役所行政資料コーナー、豊川・止々呂美支所、市立病院、稲ふれあいセンター、中央・東・萱野南・西南・桜ヶ丘図書館、みのお市民活動センター、箕面交通・観光案内所で閲覧

意見の提出

2月3日 (火) までに交通政策課 (〒562-0003西小路4-6-1) へ郵送、ファクス、電子メールまたは閲覧場所の窓口に書面で提出

結果の公表

素案と同じ場所・方法で閲覧 (3月予定)

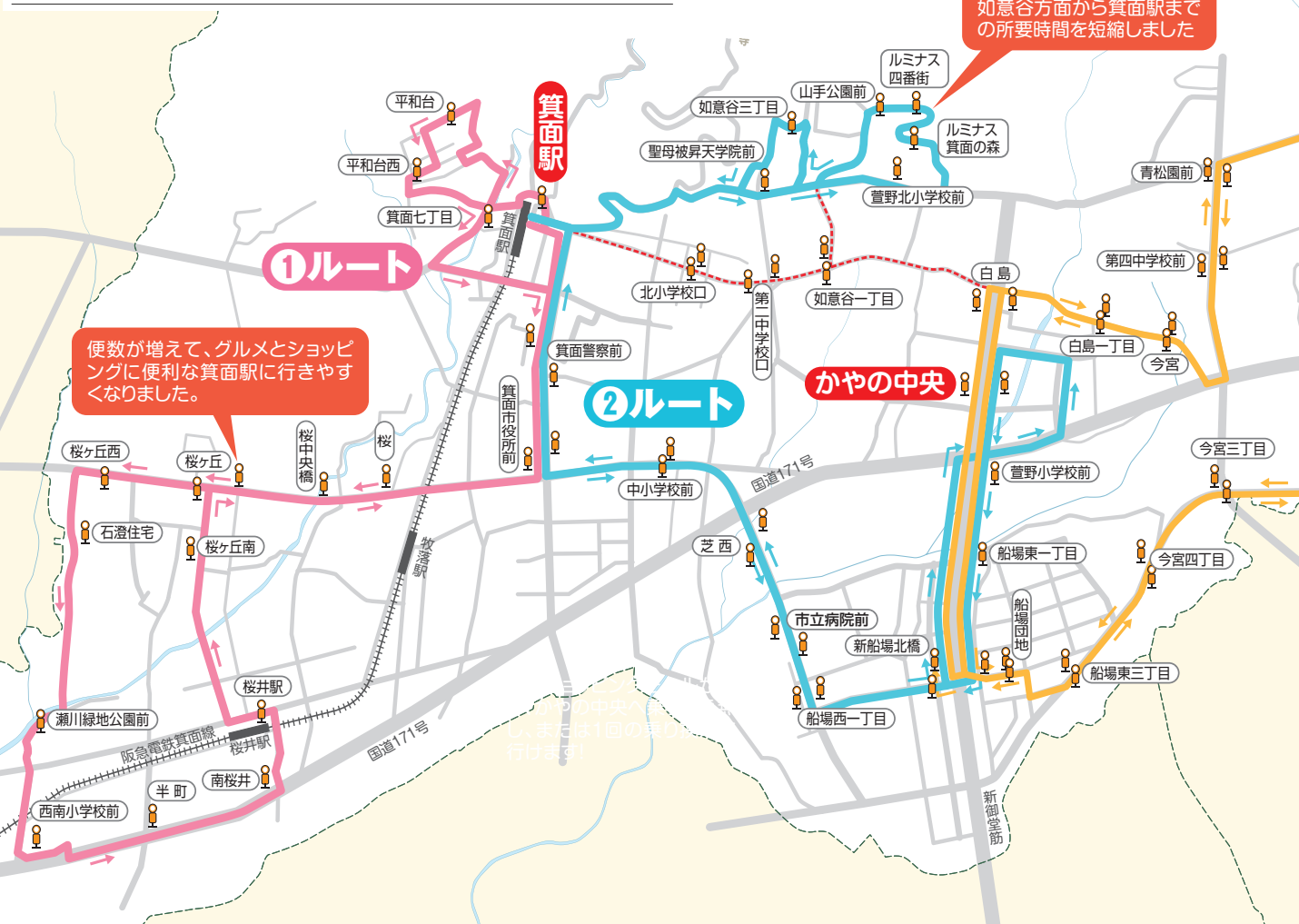
日曜・祝日ルート of 実証運行 (素案) の説明会

日 時			会 場	最寄りのバス停
1月	19日(月)	14:00～15:30	スノーピーク箕面自然館	阪急バス止々呂美ふさと自然館前
	20日(火)	19:00～20:30	みのお市民活動センター	かやの中央
	21日(水)	14:00～15:30	東生涯学習センター	東生涯学習センター前
	22日(木)	19:00～20:30	西南公民館	半町
	25日(日)	14:00～15:30	中央生涯学習センター	箕面警察前

便利で効率的な 日曜・祝日ルート (素案)

乗車運賃 一般 **210円** 小児 **110円** 高齢者 (70歳以上)・障害者 **100円**

1日乗車券 一般 **420円** 小児 **220円** 高齢者 (70歳以上)・障害者 **200円**



より使いやすく、
市民に愛される
コミュニティバスを
めざして

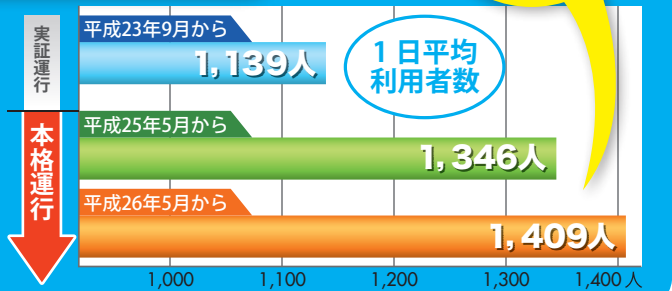
オレンジゆずるバス

月曜～土曜ルートは好調です! ぜひご利用ください!
日曜・祝日ルートは、より効率的な実証運行をスタートします!

平成25年5月から月曜～土曜ルートの本格運行を行い、多くの市民のみなさんにご利用いただいています。

月曜～土曜ルートは好調です!

月曜～土曜ルートは平成25年5月から本格運行に移行後、1日平均利用者が1,139人から1,409人に増加し、最大で1日約1,700人にご利用いただいています。
また、おかげさまで収支率 (運行経費に対する運賃収入の割合) も9月に52.7%と、全国のコミュニティバスの中でトップクラスを維持しており、好調に運行しています。
これからもオレンジゆずるバスをぜひご利用ください。



一方、日曜・祝日ルートは、お買い物バスとして1年間の新たな実証運行を行っていますが、利用者が伸び悩んでいます。

日曜・祝日ルートは新たな実証運行をスタート!

便数を増やして、利便性をアップ!
ルートの見直しによる所要時間の短縮により、便数を増やし、利用者の利便性を向上させます。

日曜・祝日ルートは、平成25年5月からお買いものバスとして実証運行 (実験的な運行) を行ってきました。しかし利用者が伸び悩んでおり、市民、商業者、交通事業者、行政機関など総勢約70人の協議会・分科会でワークショップや会議を開催し、持続可能な運行となるように、運行計画の見直しを行いました。

来年度から、さらなる業務の効率化をはかり、1年間限定の実証運行計画 (素案) を作成します。
※実証運行後は、その結果を受けて検討を行います。



オレンジゆずるバスの日曜・祝日実証運行
見直し（素案）

平成26年12月

箕 面 市

目 次

1. 日曜・祝日の実証運行（実験的な運行）見直しについて	1
(1) これまでの経緯	1
(2) 基本的な考え方	2
(3) 運行ルート	3
(4) ルート及びバス停	4
(5) 運行日・運行時間帯及び便数	4
(6) 運賃	5
(7) 収支計画	6
(8) 評価・見直し基準	7
2. 今後の進め方について	8
3. 資料	9
(1) 日曜・祝日の実証運行の状況	9
(2) 日曜・祝日の実証運行の評価	12

1. 日曜・祝日の実証運行（実験的な運行）見直しについて

（１）これまでの経緯

○日曜・祝日の運行は、「買い物・娯楽」を主目的としたルートやダイヤにより平成25年5月26日から平成26年5月10日までの新たな実証運行を開始した。

○実証運行の結果、日曜・祝日は利用者数が少なく、効率性・効果性の低い運行となっており、見直し基準を踏まえたルートの削減、減便を行っても収支率の目標値に届かず、日曜・祝日運行は「廃止」となる。

○しかし、『自分たちでバス交通を維持・発展させるという意識を持ち、公共交通について地域で考え行動するという趣旨のもと、市民が主体的に利用者数増加等に向けた改善策の行動を起こすこと』を前提に、日曜・祝日の実証運行計画を見直したうえで、平成26年5月11日から平成27年3月31日まで1年間のみ実証運行を延長した。

○平成26年5月からの実証運行開始後、市民、商業者などの分科会でワークショップを開催し、自治会への働きかけ、イベントでのPR活動、商業者と連携したバス利用者への特典の提供等の利用促進を行ってきたが、利用者数は伸び悩んでいる。

○利用者数が伸び悩んでいたため、市民・利用者の意向を把握するために、市民アンケート調査、バス利用者アンケート調査、バス乗降調査を実施し、この結果を踏まえて、市民、商業者、交通事業者、行政機関などが参画した協議会（下部組織の分科会を含む）を述べ4回開催し、日曜・祝日の実証運行の検証を行ってきた。

（２）見直しの基本的な考え方と実証運行の理由

○平成２６年５月から休日限定の新たな実証運行を行っているが、利用者数が当初の需要予測を下回っている。そのため、各種調査にもとづいて、オレンジゆずるバス実証運行当初に定めた、運行サービス（ルート、バス停）・運賃等の見直し基準をもとに、見直し検討を行ったが、収支率の改善は望めず、本来であれば日曜・祝日運行は「廃止」となる。

○現状の運転士の運行シフトを検証した結果、平日運行は、スケールメリットをいかし６台９人で運行効率が良くなっている。しかし、休日運行は３台５人で運行しており、運転士１人あたりの待機時間が多く、運転効率が悪くなっている。

○運転士１人が１日で運転できる最大の時間で、さらなる運行効率の検討を行った結果、運行経費の削減とルートの見直しにより所要時間が短縮され、便数を増便することにより、利用者数の増加が見込まれ、収支率の改善が期待できる。そのため、新たな実証運行をさらに１年間行う。

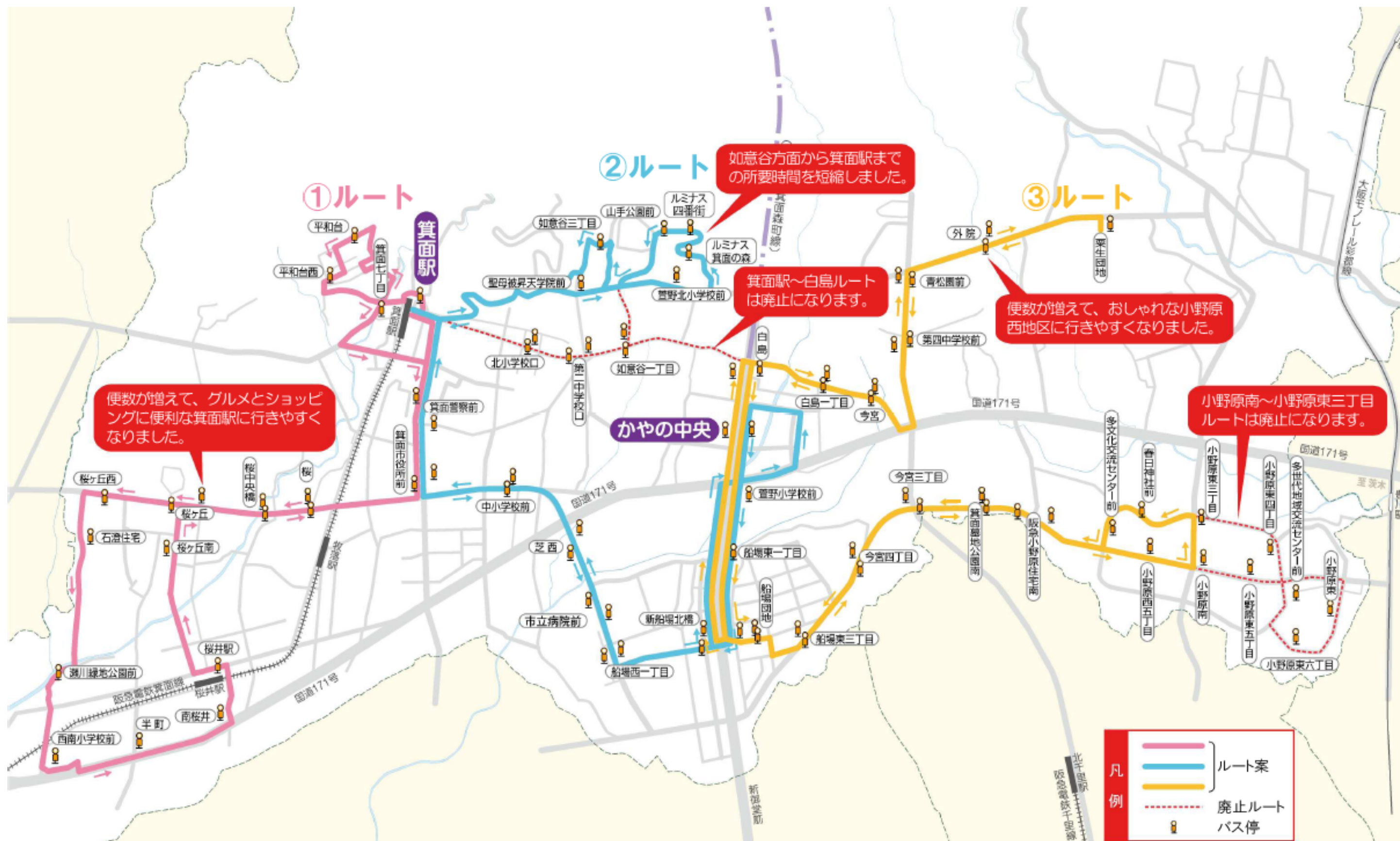
※検討経過の詳細については、参考資料Ｐ．１ 参照

【新たな実証運行の理由】

- ・運行効率の見直しによる、収支率の改善を検証するため、実証運行をさらに１年間継続する。

(3) 運行ルート

● 日曜・祝日のバスルート（素案）



(4) ルート及びバス停

日曜・祝日運行の主目的である買物に合わせた現行ルートをもとに、運転士1人が1日で運転出来る最大の時間を検証した結果、1便あたり1時間10分の運行時間で走行できるルートが最も効率が良いことから、休日の交通渋滞による遅延時間等も考慮して、1便あたり概ね1時間以内で運行できるルートに見直した。

ルート設定の具体的な考え方

【ルート設定】

- ①ルート：箕面駅～平和台～桜井～箕面駅
- ②ルート：箕面駅～如意谷～箕面駅～かやの中央～箕面駅
- ③ルート：栗生団地～かやの中央～小野原～かやの中央～栗生団地

【見直し条件】

- ・1便あたり概ね1時間以内で運行できるルート

(5) 運行日・運行時間帯及び便数

運転士1人の運行効率の見直しにより、1便あたりの走行時間は概ね1時間以内とし、9時～18時までの1本/約1時間のダイヤとする。なお、便数は現行の5便から6便に増便するが、昼間に運転士の休憩時間を1時間確保するため、昼間の便数が1便なくなる。

実証運行計画

	走行距離 (1便)	走行時間 (1便)	運行日	運行時間	便数
①ルート	9.95km	50分	日曜・祝日	概ね 9時～ 12時 ・ 13時～ 18時	6便/日
②ルート	14.50km	57分			
③ルート	14.15km	57分			

※運行時間の12時～13時は、運転士の休憩時間とする。

(6) 運賃

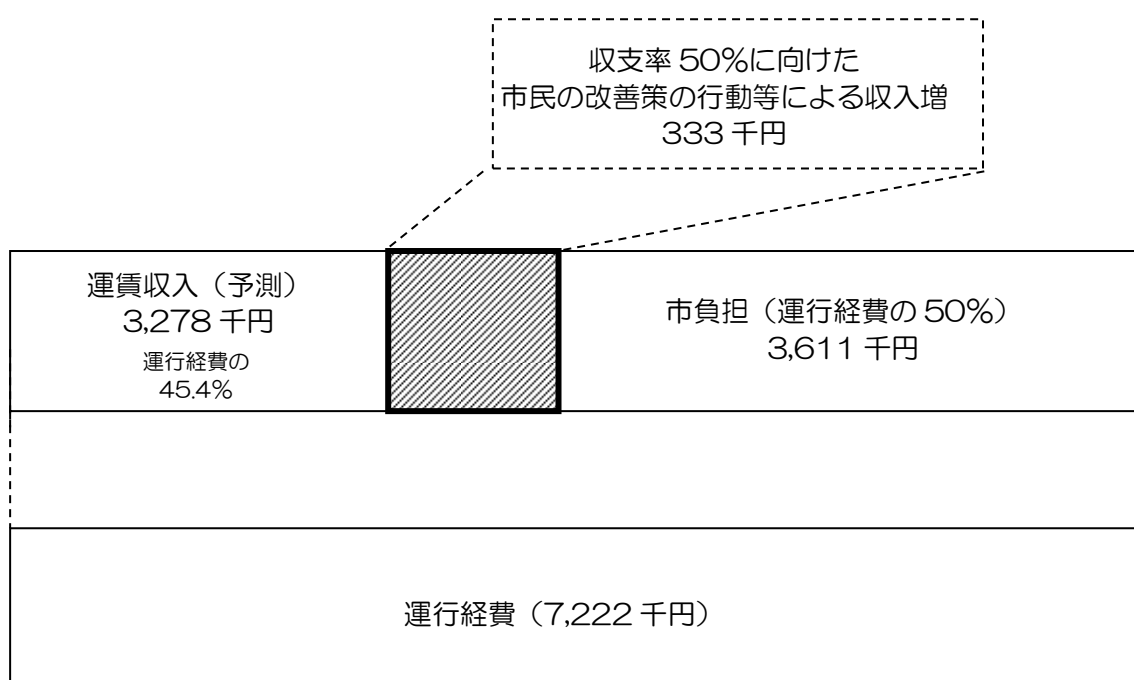
運賃体系については、平日と統一した運用を行う。

種別		支払額	備考
一般		210円	現行通り
小児		110円	
高齢者（70歳以上）		100円	
障害者（介護者も含む）		100円	
はんきゅうグランドパス65		1ヶ月： 5,500円 3ヶ月： 11,000円 6ヶ月： 21,000円 1年： 40,000円	
阪急スクールパス （210円区間の場合）		1学期： 21,420円 2学期： 23,000円 3学期： 16,380円 学年： 63,000円	
オレンジゆするバス専用定期券	一般	1ヶ月： 8,820円 3ヶ月： 25,140円 6ヶ月： 47,630円	
	小児	1ヶ月： 4,620円 3ヶ月： 11,780円 6ヶ月： 20,790円	
	障害者 高齢者（70歳以上）	1ヶ月： 4,200円 3ヶ月： 10,710円 6ヶ月： 18,900円	
オレンジゆするバス専用回数券	一般	210円券 11枚：2,000円 210円券 28枚：5,000円	
	小児	110円券 11枚：1,000円 110円券 28枚：2,500円	
	障害者 高齢者（70歳以上）	100円券 11枚：1,000円 100円券 28枚：2,500円	
1日乗車券	一般	420円	
	小児	220円	
	障害者 高齢者（70歳以上）	200円	

(7) 収支計画

見直し後の休日限定の実証運行にあたっては、運行効率の見直しにより、収支率の改善が期待出来るが、収支率は、45.4%と推測され、現状の 22.9%を大きく上回るが、見直し基準の目標値である50%には届かない。

そのため収支率50%を超えることを目標に、利用者数増加のために、パターンダイヤの検討や市民が主体的に利用者数増加に向けた改善策の行動を起こすこととする。



（８）評価・見直し基準

評価・見直し基準については、現行のオレンジゆずるバスと同様とする。

評価指標について（※ オレンジゆずるバスの実証運行当初に定めた評価・見直し基準をもとに設定）

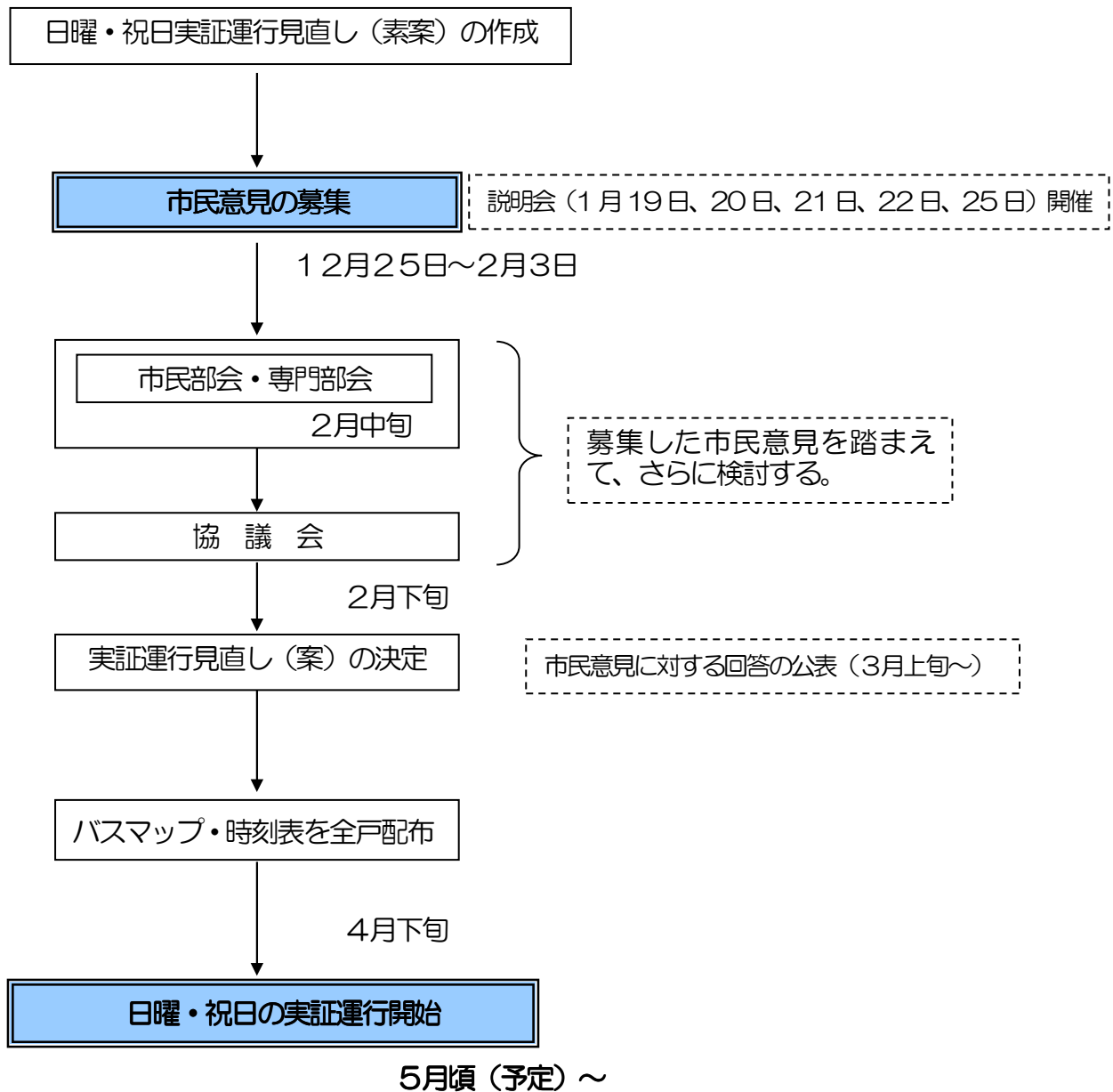
評価指標	目標値
収支率	50%
利用率	40%
認知率	80%

見直し基準について（※ オレンジゆずるバスの実証運行当初に定めた評価・見直し基準をもとに設定）

項目		見直し基準		検討の方向性
ルート・バス停の見直し	バス停 1日あたりの 利用者数	50人以上	向上	ルートの追加・新設を検討対象とする
		9人以下	改善	他ルートとの統合・廃止、通過便の設定や区間の廃止を検討対象とする
便数の見直し	バス 1便あたりの 利用者数	27人以上	向上	増便を検討対象とする
		15人以下	改善	減便を検討対象とする
運賃等 の見直し	収支率 (運賃収入＋その他収入)	65%以上	向上	割引運賃の適用範囲の拡大等 を検討対象とする
		50%以下	改善	割引運賃の適用範囲の縮小等 を検討対象とする

2. 今後の進め方について

平成26年度12月下旬よりパブリックコメントを実施し、募集した市民意見を踏まえ、さらに検討を加えて、日曜・祝日実証運行見直し（案）を決定したうえで、その運行内容に基づき、5月（予定）から運行を開始する予定です。



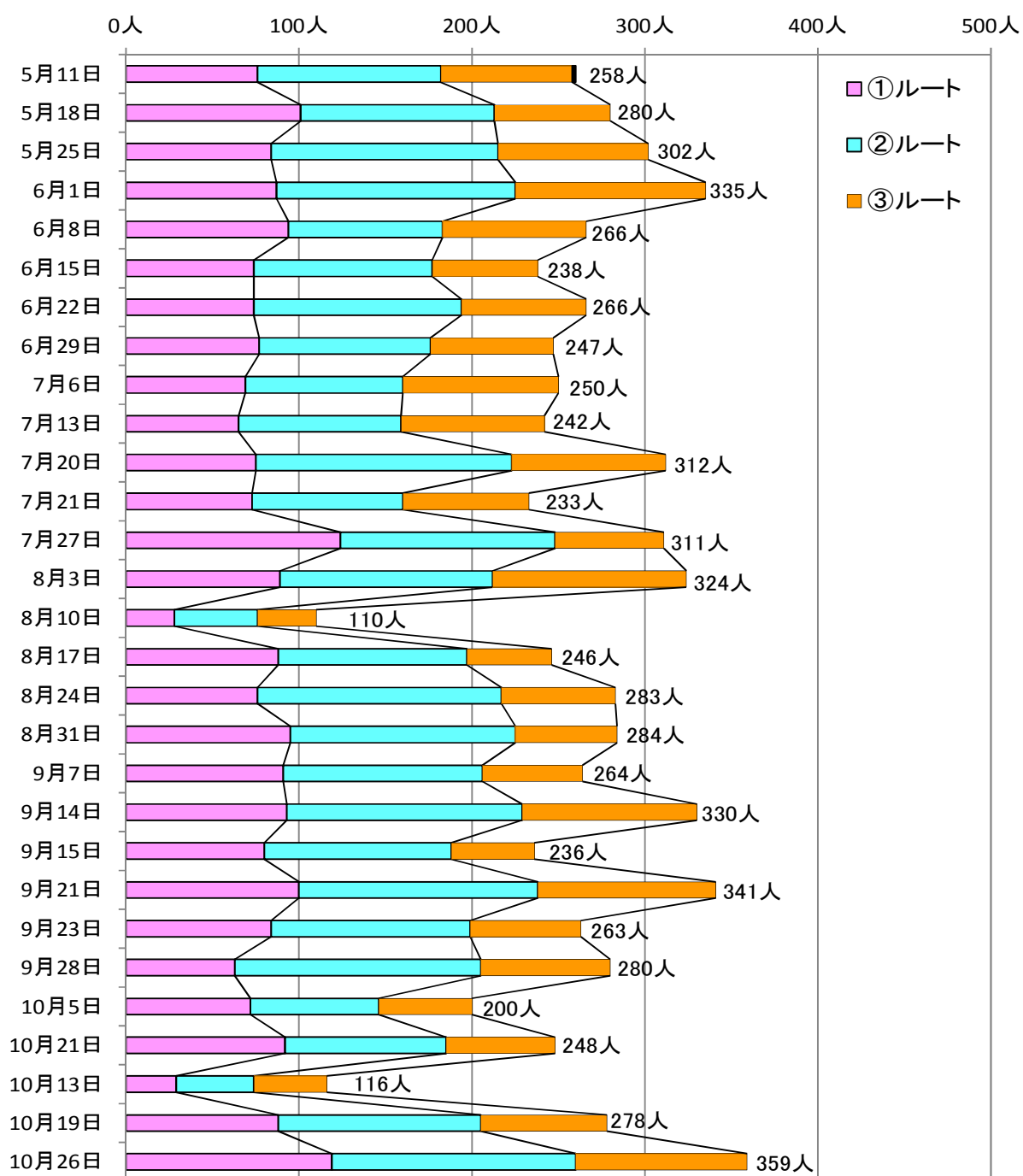
3. 資料

(1) 日曜・祝日の実証運行の状況

① ルート別1日あたりの利用者数

①ルート (平和台・ かやの中央循環)	②ルート (桜井・如意谷 かやの中央循環)	③ルート (粟生団地～ 小野原循環)	合計
81人	111人	73人	265人

※平成26年5月11日から10月31日までの平均。(29日分)



② バス停別1日あたりの利用者数

①ルート	利用者 1日平均 (人)	②ルート	利用者 1日平均 (人)	③ルート	利用者 1日平均 (人)
かやの中央	22.8	かやの中央	14.8	栗生団地	12.9
萱野小学校前	0.2	白島	2.6	外院	3.0
船場東一丁目	0.6	如意谷一丁目	0.6	青松園前	2.3
新船場北橋	5.4	萱野北小学校前	1.0	第四中学校前	1.9
船場西一丁目	3.6	ルミナス箕面の森	3.6	今宮	0.5
市立病院前	6.0	ルミナス四番街	4.5	白島一丁目	2.0
芝西	2.3	山手公園前	9.4	かやの中央	27.7
中小学校前	4.6	如意谷三丁目	7.6	萱野小学校前	0.3
箕面市役所前	5.0	聖母被昇天学院前	1.2	船場東一丁目	0.4
箕面警察前	10.2	第二中学校口	0.6	新船場北橋	3.7
箕面駅	19.9	北小学校口	0.8	船場団地	1.8
平和台	15.2	箕面駅	29.8	船場東三丁目	1.1
平和台西	4.3	箕面警察前	10.0	今宮四丁目	3.1
箕面七丁目	1.3	箕面市役所前	6.1	今宮三丁目	0.9
		桜	1.8	箕面墓地公園南	1.8
		桜中央橋	1.3	阪急小野原住宅南	0.4
		桜ヶ丘	4.4	小野原西五丁目	2.6
		桜ヶ丘西	2.7	小野原南	3.3
		石澄住宅	2.0	小野原東五丁目	2.8
		瀬川緑地公園前	5.9	小野原東六丁目	1.1
		西南小学校前	3.0	小野原東	1.5
		半町	3.4	多世代地域交流センター前	1.8
		南桜井	1.0	小野原東四丁目	1.2
		桜井駅	4.5	小野原東三丁目	1.1
		桜ヶ丘南	0.4	春日神社前	1.0
				多文化交流センター前	2.1

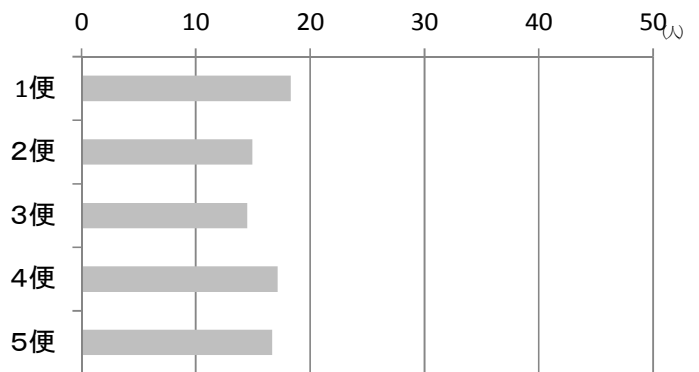
 バス停1日あたりの利用者数50人以上（向上：ルートの追加・新設を検討対象とする）

 バス停1日あたりの利用者数9人以下（改善：他ルートの統合・廃止、通過便の設定や区間の廃止を検討対象とする）

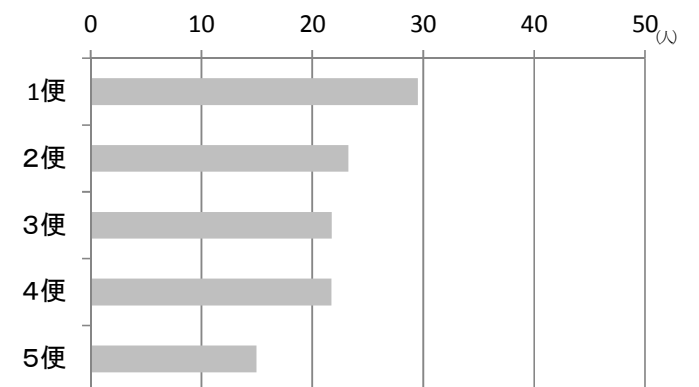
（オレンジ色にするバス実証運行当初に定めた評価・見直し基準をもとに設定）

③ ルート別バス1便あたりの利用者数

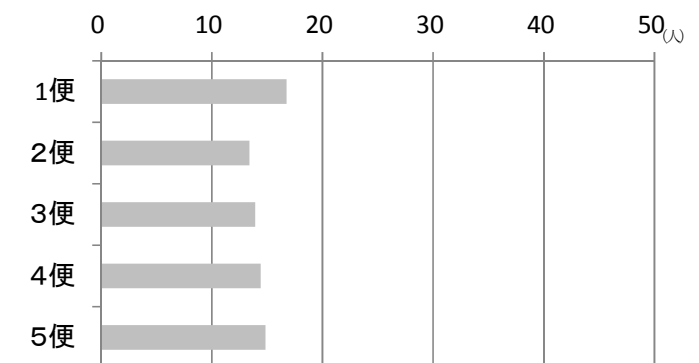
①ルート	利用者 1日平均 (人)
1便 (10:31かやの中央発)	18.3
2便 (11:56かやの中央発)	15.0
3便 (13:21かやの中央発)	14.5
4便 (14:46かやの中央発)	17.2
5便 (16:11かやの中央発)	16.7



②ルート	利用者 1日平均 (人)
1便 (9:47かやの中央発)	29.5
2便 (11:27かやの中央発)	23.2
3便 (13:07かやの中央発)	21.8
4便 (14:47かやの中央発)	21.7
5便 (16:27かやの中央発)	15.0



③ルート	利用者 1日平均 (人)
1便 (9:58粟生団地発)	16.8
2便 (11:23粟生団地発)	13.4
3便 (12:48粟生団地発)	13.9
4便 (14:13粟生団地発)	14.4
5便 (15:38粟生団地発)	14.8



(2) 日曜・祝日の実証運行の評価

① 評価指標（認知率、利用率、収支率）による評価

1) 認知率

目標値	項目	目標達成度
80%以上	運賃	70.7%
	最寄のバス停	44.6%
	ルート・行き先	26.3%
	誰でも、どんな目的でも乗れる	86.7%
評 価		
“運賃”の認知率は、70.7%であり、目標値に近づいている。誰でも、どんな目的でも乗れる”の認知率は86.7%であり、目標値を達成している。 “最寄のバス停”については、4割程度となっている。 “ルート・行き先”についての認知率は、平日、休日ともに1年目の目標値50%以上に達していない。		

2) 利用率

目標値	目標達成度
40%以上	14.4%
評 価	
今回の市民アンケート調査結果による利用率は14.4%であり、目標値をかなり下回っている。	

3) 収支率

目標値	目標達成度
50%以上	【休日運行】22.9%
	5月(20日～31日): 25.0%
	6月: 22.9%
	7月: 24.0%
	8月: 21.0%
	9月: 25.2%
	10月: 19.5%
評 価	
- 休日運行の収支率は22.9%と低く、目標値にはほど遠い状況にある。 - 月別では9月の収支率25.2%が最も高い。	